



尾山台小だより

1月号

学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成」
～明るい子、考える子、たくましい子～

〔尾山台小ホームページ〕<http://www.city.ageo.lg.jp/site/oyamadai-elementaryschool/>
または、「上尾市」ホームページ→「上尾市立幼小中学校」→「尾山台小学校」をクリック

生き生きと学び、大きく成長する子供たち

校長 熊坂 由美子



尾山台小学校HPはこちら

令和6年、辰年になりました。たつ（竜、龍）は十二支の中で唯一空想上の生き物です。この年は、陽の気が動いて万物が振動し、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年だと言われています。尾山台小では、今年も子供たちが生き生きと学び、大きく成長できるよう、職員一同努めてまいります。本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、学校で子供たちは、マスクを外して大きな声で歌を歌ったり、思いっきり運動したりすることができるようになりました。保護者や地域の方々へ、教育活動を人数制限なく公開できるようにもなり、有り難く感じます。そして、小学校の集団生活で味わえる当たり前を体験しないまま約三年間を過ごしてきた子供たちには、これからは満喫してほしいと強く願っています。顔を寄せ合い話し合うとか、給食の時間の楽しいお喋りとか、休み時間に友達と手を取り合って走り回るといったような関わりを通して、集団生活の楽しさを感じられると考えます。他愛のないことで笑い合う中で、人の温もりを感じて幸せな気持ちになれると思うのです。

年度当初に「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」に向けたカリキュラム開発を進めていくこととお知らせしました。一人学びと集団での学びの両方を大切にしていこうということですが、この三年間、集団で協働して学ぶことを思う存分やってこなかった子供たちには、特に大切な学習体験だと考えます。

総合的な学習の時間（OK タイム）や生活科では、学級全体が課題を共有し、探究しながら学習を進めます。今までは、学級ごとの課題を「福祉」「環境」「自然」等の領域から子供たちに提示して始めていましたが、より子供たちが自分事として探究できるように、領域も課題も、子供たちが話し合って決める学習方法に取り組み始めています。

3年生は「生き物」の領域から、「尾山台生き物調査隊」という単元名を設定して取り組みました。GET フェスティバルでは、完成させた「生き物博物館」を会場にクイズコーナーを作り、お客さんに披露しました。5年生は「食育」の領域から、「米作り」→「収穫した米の精米・調理」→「食品ロス（SDGs）」へと発展していっています。他の学年やあじさい学級でも、それぞれ特色ある取組を試行錯誤しながら進めているところですが、まさに顔を寄せ合い話し合い、手を取り合って笑い合い、課題にぶつかり一緒に悩んだりしていました。

このような学習活動中、子供たちは生き生きとしています。そして、個々が自主的に必要な用具を持参したり、調べたりしてきます。体験から多くを学び、一人学びと協働的な学びが一体化した学習にもなっています。

令和5年度まとめの学期も、様々な教育活動を工夫してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きのご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。